

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 大崎町立大崎小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	2年生60名、3年生61名、4年生48名、5年生38名、 6年生66名、教職員21名、保護者・地域約30名 (計324名)
3 展開の形式	(1) 行事名 「パラリンピックを知り、生き方を学ぶ会」 ① 教科名 (創意・総合的な学習の時間：2時間) ② 学年 (2～4年：1時間、5・6年：2時間) ③ 内容 (パラスポーツ講演会・体験会) (2) 行事名「パラリンピックを学ぼう」 ① 教科名 (総合的な学習の時間 1時間) ② 学年 (第5学年：38名・保護者 20名) ③ 内容 (パラリンピック調べ学習) (3) 行事名「What do you want to watch?」 ① 教科名 (外国語科 1時間) ② 学年 (第6学年：66名) ③ 内容 (オリ・パラ観戦計画を作る。)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピアンとの交流・触れ合いを通して、生き方・考え方を学び、自分の将来について夢や希望をもつことの意味を知る。 チャレンジ精神(夢や希望・自己肯定感)やフェア・プレイ精神(公正・公平)などのスポーツの価値を理解する。 障害のある方や、海外の文化などの多様性に関する理解を深めるきっかけになる(共生社会・インクルーシブ教育、国際理解教育)など、将来、国際社会や地域社会で活動していくための生き方を学ぶ。
5 取組内容	(1) 第2～6学年 (創意・総合的な学習の時間) 「パラリンピックを知り、生き方を学ぶ会」 ア 講演 「きっかけ」 講師 池田 樹生氏 (ジャパンパラ競技大会 400m日本記録保持者) イ パラスポーツ (義足) 体験 ウ 池田さんに質問タイム



(2) 第5学年（総合的な学習の時間）

「パラリンピックを学ぼう」

- ア 「I'm Possible」を活用した調べ学習
- イ パラリンピック視聴（DVD鑑賞）
- ウ パラスポーツに関するクイズ大会



(3) 第6学年（外国語科）

「オリ・パラ観戦計画を作ろう」

- ア オリ・パラについて知る（DVD視聴）。
- イ 競技種目を調べる。
- ウ 観戦計画を作る。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について学び、東京2020オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めることができた。 ○ パラリンピアンとの交流・触れ合いを通して、生き方・考え方を学び、自分の将来について夢や希望を持つことの意味を知ることができた。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の教育目標「～自他共に大切にし、夢や希望を持った子どもの育成」の具現化に向け、パラリンピックに重点を置き、講演内容を打ち合わせた。 ○ 指導の充実と教科横断的な取組の効果を生かせるよう、実施時期を調整した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度途中からの取組であったため、日程や授業時数調整に苦慮した。教育課程に位置づけ、計画的に準備を進める必要がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「beyond2020 マイベストプログラム」も含め、オリ・パラ教育の意義を踏まえた活動を積極的に取り組んでいく。 ○ 「東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校ようい、ドン!スクール」として、オリ・パラを盛り上げる取組を積極的に推進していく。